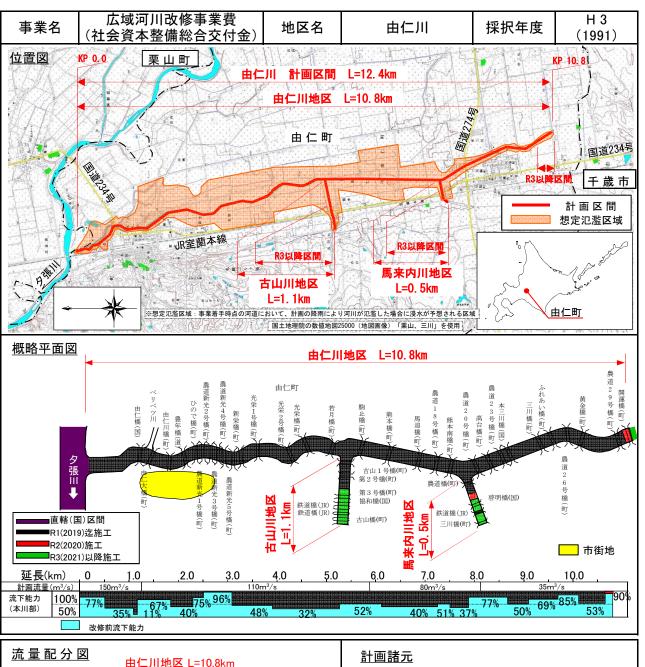
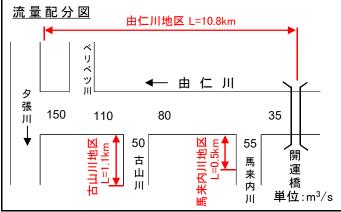
令和2年	隻(<u> 2020</u>	年度)	公共	事業再	評	価割	書		/F-J	T == '		基準年月			和2年8月	
調書番号 I 基本事項(基準日		08-02		所管	所管部		頭	建設部		作成責任者 担当係		<u></u>			砂防課長 滝田 哲也 		
事業種別		時点) 広域河川改修事業費(社会			資本整備総合交付金)				地区名 歯仁川 市田			市町	1村名 由仁町				
事業費		13,053 百万円		百万円	負担割合 -		国 67% 8,702 百万円			道 33% 4,351 百万			市町村		百万円	その他 5m 百万円	
	で、S 8月、 水な。 ●この	356年(19 H2年(19 ビ多大な被害	81年)8月 90年)4月 号が発生した 年(1991年	、S62年 の洪水に :。 手) より当	2年(1987年) により、家屋浸 0当該計画区間		100 10			川古山川は由仁川合流点から ら0.5kmの区間の合計12.4km る河積の拡大を行うものであ							
事業目的・目標	方の新設や河 由仁町三川地 曼水被害を防 ウトカム】 多の目標とす ある家屋数	関道の掘削に 地区、東栄地 か止する。 等 お見模の降 356戸ー よる規模の降	はる河積 区などの ・ 雨により ・ ○ ○	可積の拡大を行 どの市街地及び農 より浸水するおそ より浸水するおそ		工事	等 内訳	計算與提供	NU CHARLES CONTROL OF 15 CHARLES CONTROL OF	2,400n 390m 2,400n 2,540n 路橋N=3 間査・部	n n n 38橋、 設計	JR橋N=3			(百万円) 変更前 251 2,049 1,268 5,128 1,714 1,490	(百万円) 変更後 565 2,344 1,294 5,415 1,945 1,490	
総合計画での 位置付け		施策名 大規模自然 合計画:中項目 強靱な北級			が災害対策の推進 通道づくりとバック		アップ機能の発揮		総合計画: 大項目 総合計画: 小項目 大規模自然災害に対す			生活・安心					
Ⅱ 公共事業評					公共施設の	整備				関連する		_					立:百万円)
事前評価	-	13 H	13		完了予定 H21	経過	事	総事業費	(a) .252	道負担	l額 3,084	当該企	∓度事業費 <u></u> ──	累積	事業費(b) 進捗	率(b)/(a)
業 又は当初 経 前回評価	(19			(2009) 27 H34		年数	業		900		3,967						
経 即回評価		Н	13 F	2015) (2022) R2 R9		29	費		.053		1,351		399		11,1	65	86%
72011		運橋、農道2	29号橋など	における		策に		造形式の変	更によ	:る				1	1 1,1		30/6
変更理由•内容	(4)資	堤工に堤防 材及び労務												こよる			
Ⅲ 事業採択前 1.事業採択に至る 経過と背景		• \$56 • \$62	年(1981: 年(1987: 年(1990:	年) 8月	浸水被害	が発生	主(浸z	水面積18k 水面積46 水面積200	1 ha、	浸水家屋8	3戸)						
2.事業検討の手線 (住民エーズ の把握等	i ()	● H2年	(1989年) (1990年) (1991年)) 4月 🛭	由仁川改修 由仁川につ 由仁川の改	いて、	由仁田	りより道へ	可川改	修の要望							
3.事業効果を及同 地域・対象	€ g		三川地区、 防止面積7			93h	a)、為	曼水防止 家園	₹356	沪							
			事業名業(経営体育	成型リン	事業主体 事業期間 北海道 H20(2008)~H28(2016)			事業費(百万円) 2.419 農地整備(下古山			事業内	容					
4.関連する事業		火心正明 学习	- 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	ハエノ	和中国		1120120107		_0 10/			, , , , ,	,-U(<u>C</u>)				
N 事業の実施: 1. 進捗状況	犬 況	施工(工築は 掘門 護門 附帯 測量	字 銭及び今 種)区分 是工 割工 学工 います。 要求 を対する では、	L=1 L=1 道路橋N=3 調	工事内容 =6,390m 12,400m 12,540m 88橋、JR橋N= 12,540m 12,540m 13で、設計 ば収・物件補	3橋等	H3	4 5	~ L=11. L=11. 遊標33種 80	L=3.707m 355m 795m	R1	->- ->- ->-	3 ~ 	「 」 第2標等 ・・・・>	77 82 89 80 98	況 事業費 7% 2% 9% 0% 3% 7%	(百万円) 2,344 1,294 5,415 1,945 1,490 13,053
		(2) 進捗		040 ₹													
		事業期間の	延伸後、事 a:概ね予 b:事業計	業は概ね 定どおり 画 (期間	7km、支川Oらkmの計11.3km区間の整備 ね予定どおりに進捗しており、今後の事業 おり実施している。 明間)等を変更し実施する。 実施に支障をきたしている。			BU元」。 実実施にあたっても、特に大きな支障とな			きとなる	:るものはない。 -					
		- X	経済効果の内	京(百万			費用の内訳()					B/C		● EW	備考		
		項目 洪水被害防止効果		3	R2現在 169,662		項目 建設費 維持管理費				2現在 26,269 70		NZ現住	R2) に ●効果及		土国)に基地の関係を	交通省 出 、R2に現
		合計(B)			169,6	362	合計(C)			26	6,339	644		6.44	完了後5 ●費用は	50年間」 ⁻ は、現在価	で算出
2.事業効果		前回再評価 前回再評価 変更理由	14 開運橋、 開運橋、 原 提工に が 短 対 と び う 業 業 経 済 と び り き 業 と で り と で り で り り り り り り り り り り り り り	E(2015年度) により総事業費と異なる により総事業費と異なる により総事業費と異なる に提防天端舗装を追加したことによる。 において残土処理が必要になったことによる。 び労務単価の上昇による。 の増額に伴い残事業の施工期間を精査したことによる。 済調査マニュアル(案)が改定され、便益の算定方法等が見直されたことによる。 び費用をR2に現在価値化したことなどによる。								異なる					
3.コスト縮減		施工の最適化			取組内容 縮減額(百万円) 現地採取の表土を護岸の覆土へ有効利用 25												
るころで配換などの取組		施工の最適化	Ľ	I	エ事で発生したコンクリート般をかごマット等の中詰材へ再利用 3												

V 評価													
1.必要性	● 本事業は、由仁町三川地区、東栄地区などの市街地及び農地の洪水被害を防止するためのもの。 ● 事業着手後もH13年(2001年)9月(浸水農地15ha)に浸水被害が発生。 ● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。												
	a : 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b : 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c : 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。												
	(1)環境上の配慮及び課題 ● 落差工に魚道を設け、河床の縦断的な連続性を確保することにより、魚類などの移動に配慮している。 ● 現況河床の保全や中州等を設けることにより、瀬や淵の形成を促し、画一的な水際とならないよう配慮している。 ● 植生の早期回復を図るため、護岸などに現地採取の表土による覆土を実施している。 ※直近の評価以降の状況変化はない。												
2.事業を推進する 上での課題	(2) 事業推進に対する住民の動向 ● 由仁町及び由仁川改修促進期成会から事業の早期完成に向けての毎年度要望が出されている。 ● 空知地方総合開発期成会から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。												
	(3) その他の課題◆ 特になし												
3.事業達成の	今後の事業の実施にあたっては、特に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。												
見込み	a:現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b:課題はあるものの達成は可能である。 c:大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。												
	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和9年度(2027年度)の完成を目指し、事業継続する。												
4.対処方針	a a:継続 b:終了 c:休止 d:中止												
VI 備 考	事業期間の変更の有無 無 事業費の変更の有無 有 事業内容変更の有無 <u>制的・規模等に係る変更 左記以外の変更</u> 無 無 無												
vi Ma =	再評価 : 平成27年度 (2015年度) 実施 評価結果: 継続(変更なし) B/C=2.14												
1.評価履歴													
2.その他の取組													

	2資料		=										(単位:百万円)
ν.π	32251	再評価		着手	変更年度	完了予定			総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	事前評価 又は当初		H3 (1991)	H3 (1991)		H21 (2009)			9,252	3,084			
事	変更①	108		H3 (1991)	H12 (2000)	H21 (2009)	経	経	9,252	3,084			
	変更②	208			H17 (2005)	H23 (2011)		事	11,050	3,683			
***	変更③	308			H22 (2010)	H29 (2017)	過	過	11,050	3,683			
業	変更④	408			H27 (2015)	H34 (2022)			11,900	3,967			
	変更⑤				H28 (2016)	H39 (2027)	年	業	12,746	4,249			
期	変更⑥	508			R2 (2020)	R9 (2027)			13,053	4,351	399	11,165	86%
	変更⑦						数	_					
間	変更8						**						
	変更⑨												
	変更⑪						29	29					
変更	変更②:事業費の変更 国道橋の橋桁及び基礎構造の変更、JR橋架替に必要な仮設道路に仮桟橋が必要になるなど仮設工法の変更による。 :事業期間の延伸 本工事や付帯工事の施工時期が、農期との調整により制約を受けたことによる。 変更③:事業期間の延伸 国道橋2橋及びJR橋2橋に係る施工年次については、一部重複して計画していたが、管理者との協議の結果、重複した計画 (同時施工)が不可能となったことや、国道橋架替えに必要な迂回路の借地交渉に時間を要したことなどによる。 変更④:事業費の変更 古山川の協和橋(国道)架替に迂回路や仮橋が必要となり、さらに農業用水路施設の移設が必要になったことなどによる。 :事業期間の延伸 国道橋の近回路に係る農業施設管理者との協議に時間を要したことのほか、残事業費を精査したことなどによる。 変更⑤:事業費の変更 関連橋、農道29号橋などにおける軟弱地盤対策による構造形式の変更による。 遅削工に堤防天端舗装を追加したことによる。 掘削工に場がて残土処理が必要になったことによる。 :事業期間の延伸 事業費の増額に伴い残事業の施工期間を精査したことによる。												
変更⑥:事業費の変更 資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による。													





河	ЛП	名	由仁川	古山川	馬来内川			
流域	面積	(km²)	61.25	10.06	9.87			
計画	延長	(km)	10.8	1.1	0.5			
氾濫	面積	(ha)	750					
計画	雨量		21.6 mm/hr					
計画高	水流量	(m^3/s)	150 50		55			
計區	画 勾	配	1/500 ~1/400	1/300 ~1/185	1/300			

